平成３０年度事業計画

１．基本方針

昨年度の日本経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調が続いておりますが、少子高齢化という大きな課題に向けて、政府は新たな政策を打ち出しております。平成３０年度はこうした各種政策による効果が見込まれ、経済の好循環が更に進展するものと考えます。

その一方で、少子高齢化が一段と進み、労働人口が減少していることから、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが日本経済にとって欠かすことの出来ないものとなっております。

この様な状況下にあって、高齢者の希望に応じた就業機会の確保及び提供と就業を通じて福祉の増進、健康寿命に資するためにもシルバー人材センターが果たす役割は、今まで以上に重要であり、地域社会における期待も一層大きくなって来ています。

今後のシルバー人材センター事業を更に活性化するため、安全就業を徹底し、地域とともにお客様のニーズに応えるべく会員の拡大、就業機会の確保などを推進し、センター機能の強化・充実を図ることを目指します。

２．事業計画

（１）会員の確保と就業機会の拡大

・会報、市広報紙、ホームページ等を活用し、センター活動の普及・周知を図り、各種イベントやボランティア活動にも積極的に参加するなど、地域貢献とセンターのアピールを行い、会員の確保を図るとともに、就業機会の拡大を図ります。

・役職員及び会員一人ひとりによる勧誘活動を積極的に行い、女性会員の増強も図ります。

（２）安全就業対策

・傷害事故や健康障害が起こらないよう役職員及び会員が一致して安全な就業、健康管理及び交通安全の確保に努め、無災害、無疾病を目指します。

・安全パトロールを行い、作業の安全点検や確認について指導し、安全への知識を高めます。

・「安全就業だより」の発行などあらゆる機会を利用して、安全就業に対する知識を根付けます。

（３）会員の就業意欲と技術の向上

・会員の就業機会拡大と未就業会員の適正化、希望を考慮した就業支援や配分金改定による就業意欲の向上を図ります。

・会員の技能・知識の取得と向上を目指し、技能講習会を実施します。

（４）会員の資質の向上

・会員主体の講習会を行うなど、自主的運営を一層推進するとともに、関連団体主催の会議、研修、講習会等に積極的に参加し資質の向上を図ります。

（５）組織運営の充実

・各専門部会・地域班等の積極的な活動の促進に努めます。

・会員、役員及び事務局との緊密な連携を図り、効果的な運営を推進します。